

令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

(事業の概況)

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、当センターの運営においても前年度同様、事業の一部中止や事業内容の大幅な見直し等を余儀なくされ、新型コロナによる行動制限の緩和等により旅行者は戻りつつあるものの、引き続き厳しい運営となった。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の予防対策に万全を期しながら、盛岡広域8市町や関係団体等と連携し、地場製品の紹介と普及啓発、体験学習、資料展示等の事業に取り組む一方、事業復活支援金の活用や冬の節電チャレンジキャンペーンへの申し込みを行うとともに、施設の賃貸、地域外商品やアロニア関連商品の販売、各種地場製品の普及宣伝、体験学習を通じたキャリア教育、人材育成事業等を実施した。

主な事業としては、東京・沖縄の「盛岡デー」への出展、盛岡市の委託事業によるイオンレイクタウンmori・いわて銀河プラザ「盛岡の伝統工芸品展」の開催、熊谷八木橋百貨店における「みちのく盛岡の名品と観光展」出展等、各種物産展への参加のほか、昨年引き続き盛岡市の緊急経済対策により実施した、県外に進学した学生に地元特産品の詰め合わせを送付する「もりおかエール便」が好評を博したほか、12月20日から3月13日までの期間、盛岡市の「盛岡市省エネ家電買替え促進事業」を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けた地域経済の回復と業界の振興に取り組んだ。また、県内外の小・中学校の修学旅行について、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら受け入れを行い、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感してもらい、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めていただいた。

このほか、アメリカのニューヨーク・タイムズ紙が令和5年1月12日に発表した「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれ、ロンドンに次ぐ2番目に紹介されて大きな注目を集めたが、新型コロナウイルス感染症が小康を保ち、当センターにおいても1月以降、入場者数・展示即売室売上が前年度実績を大きく上回り、コロナ禍前の水準には届いていないものの、令和4年度の入場者数は対前年度比136.3%となる約22万1千人、展示即売室の売上額は同104.8%となる約1億4,345万円、体験学習扱売上額は同90.7%の2,441万円となった。

1 地場産業振興事業（公益目的事業）

公益目的事業として、地場産業の振興と人材の育成に資するため、地場製品の紹介と普及啓発、手づくり教室体験、盛岡地域の地場産業への理解と共感を深める展示資料室の運営、手づくり産業の後継者が行う新商品開発や市場開拓の支援に取り組んだ。

(1) 地場製品紹介普及啓発事業

本事業は、盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品をはじめ各種工芸品、食品等の地場産品を国内外の消費者に紹介し、普及啓発を図ることを目的とする。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、規制緩和により少しずつ一般・団体旅行の増加、国内や海外からの旅行者数が増えたため、売り場商品の充実を図り、物産展への積極的な販売を行った。

また、盛岡市の経済対策事業である「もりおかエール便事業」「盛岡市省エネ家電買替え促進事業」「盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業」を通じて、地場製品の宣伝・販売を実施した。

ア 展示即売事業

- ・盛岡市がNYタイムズで紹介されたため、盛岡市の特産品を集めてNYタイムズコーナーを設置した。合わせて月毎に季節コーナーを取り入れた。
- ・ギフトシーズンの6月と12月に、贈答品として需要が高い地場産品を取り揃え、即売室にギフトコーナーを設置するとともに、カタログを作成した。また、盛岡手づくり村のホームページにギフトカタログを掲載し、来店しなくても商品を購入できる仕組みを整え、地場産品の普及、宣伝に努めた。
- ・うるま市・盛岡市の友好都市提携10周年を記念したオリジナルコラボ商品を開発し、スイーツギフトとしてPRと販売を行った。
- ・ロビー空間を活用し、岩谷堂箆笥の入札会を4月と5月と8月に実施、1月に福箆笥販売を行い、岩手の伝統的工芸品を紹介宣伝した。
- ・展示即売室ポスシステムの情報を活用し、出店事業者に対し、月毎の販売状況の概要と分析、販売計画等の情報提供を行った。
- ・展示即売室に「修学旅行お土産コーナー」を設置したほか、事前に「修学旅行お土産最適品リスト」を配布し、岩手の特産品を周知した。その他、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、スムーズな買物ができるよう対応を行った。
- ・商品の品質や特徴をPOPや商品説明の掲示で説明し、展示商品の魅力を実感してもらいながら買物ができる環境づくりに努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症防止策として、展示即売室とマルシェのレジ周りに飛散防止フィルムを設置するとともに、店内や買物かごの消毒を適宜行うなど衛生管理に留意し、安心して買物を楽しめるよう取り組んだ。
- ・盛岡市の委託事業「もりおかエール便事業」では、盛岡市出身の若い年代層に地域特産品の魅力を改めて実感してもらえるよう、商品提案を行った。
- ・盛岡市の委託事業「盛岡市省エネ家電買替え促進事業」の企画で盛岡市の特産品を詰め合わせた商品提案を行った。

イ 物産展・展示会への出展

<全国センター等>

- 10月8日～11月20日 「高岡地場産業振興センター」 県外委託販売
- 10月8日～10月9日 「今治地域地場産業振興センター」 県外委託販売
- 12月3日～4日 「八戸地域地場産業振興センター」

<県内>

- 9月22日～26日 「もりおか味と工芸展2022」(川徳)
- 9月23日～26日 「スポーツマスターズテニス大会 物販」(盛岡市太田)
- 11月13日～12月20日 「盛岡りんごフェア」出展(前潟イオン)

<県外>

- 5月5日 「東北6県おまつりDAYS」出展(宮城 三井アウトレットパーク)
- 5月28日～29日 「東北絆まつり」出展(秋田)
- 7月7日～11日 「盛岡デー・イン・東京2022」出展(イオン板橋)
- 10月1日～2日 「盛岡広域物産フェア」出展(仙台 利府イオン)
- 10月15日～16日 「うるま祭り」出展(沖縄県うるま市具志川総合運動公園)
- 10月29日～30日 「なかの東北祭り」出展(東京 なかの駅)
- 11月24日～27日 「盛岡デー・イン・沖縄」出展(イオン琉球)
- 12月10日～11日 「東京駅 もりおか展」出展(東京 グラスタ)
- 12月15日～18日 「秋田と岩手の観光と物産展モリハチ祭り」出展(埼玉 まるまるひがしにほん)

- 1月28日～29日 「うるま市産業まつり」 出展（沖縄県うるま市）
- 2月11日～12日 「いしのまき元気いちば」（石巻元気いちば）
- 2月22日～24日 「盛岡の伝統工芸品展2023」 出展（いわて銀河プラザ）
- 2月22日～27日 「みちのく盛岡の名品と観光展」 出展（熊谷八木橋百貨店）
- 3月8日～12日 「うまいもの東北」 出展（イオンレイクタウン店・与野店）
- 3月8日～12日 「盛岡の伝統工芸品展2023」 出展（イオンレイクタウン店）
- 3月9日～13日 「にぎわい東北」 出展（イオン板橋）
- 3月24日～26日 「うえの桜フェスタ2023」 出展（上野恩賜公園）

<常設展示>

- 4月～3月 「イオン盛岡・もりおかん」 常設委託販売
- 4月～3月 「もりおか歴史文化館」 常設委託販売
- 4月～3月 「もりおか啄木・賢治青春館」 常設委託販売
- 4月～3月 「つなぎ温泉観光協会」 常設委託販売
- 4月～3月 「らら・いわて」 常設委託販売

<ギフトカタログ>

- 6月～8月 「盛岡手づくり村・夏ギフト」
- 11月～1月 「盛岡手づくり村・冬ギフト」

<ふるさと納税謝礼品>

- 4月～3月 45件受注

<イベントスペース>

- 4月～5月 新生活応援フェア・修学旅行お土産コーナー
- 6月～8月 夏ギフトコーナー
- 10月～11月 修学旅行 お土産コーナー
- 11月～1月 冬ギフトコーナー
- 1月～3月 NYタイムズ世界の行くべき場所第2位「もりおか」コーナー

<ロビー>

- 4月、5月、8月、1月 岩谷堂箆筒入札会（1月は販売会を実施）

<マルシェ>

- 盛岡広域8市町コーナー設置
- マルシェギャラリー

ウ インターネット（楽天市場「盛岡手づくり村オンラインショップ」）

- 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 内容：食品・工芸品等 約500アイテム出品

(2) 体験学習事業

全国から盛岡手づくり村を訪れる来場者を対象に、「体験学習」を実施した。伝統の技や製作工程を間近に見て、触れて、体験できるのは、盛岡手づくり村の最も優れた魅力であり、工房の職人の技を生かし、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感してもらい、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めた。新型コロナウイルス感染症の影響による目的地の変更で、令和2年度から令和3年度に初めて当施設を訪れた修学旅行団体を対象に再訪のアプローチを行い、令和4年度においても手づくり教室の体験者を確保し、更に次年度につながるよう効果的な対応を行った。

陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、陶器絵付、木の実細工、冷麺

- ・修学旅行の事前調査に来村する学校、団体等に対して、これまでの実績や十分な情報を提供し、来村者の確保に努めた。
- ・成人対象本格的体験メニュー調査研究の一環として、「Base TOHOKU」事業に協同組合盛岡手づくり村事務局と参加し、南部曲り家を会場とした「つなぎでつなぐ、さんさ踊り体験会モニターツアー」において、さんさ踊り体験と藍染体験・機織り体験のセットメニューを試験実施した。
- ・お正月フェアにおいて展示即売室の催事コーナーを利用し、コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、繭細工の特別体験教室を開催した。

(3) 展示資料室運営事業

盛岡地域の地場産業に対する理解を深めてもらうことと地場産業の振興・発展を目的に、全国から訪れる来場者に対して、歴史や製造工程、製作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統的工芸品の展示を行った。また、広域8市町と連携しながら広域の地場製品の紹介を行った。

- ・地場製品の歴史や生産技術、生産工程、施設内工房の紹介を通して、盛岡広域圏内の地場製品の普及宣伝を図った。
- ・盛岡広域圏8市町で組織した「盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会」との連携から、展示資料の充実を図り、一部コーナー展示物の入替を行った。
- ・社会科見学で訪れる広域内小・中学校への学習支援に展示資料室を活用した。

2 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努めた。

- ・盛岡手づくり村ホームページ上で、手づくり産業の後継者等で構成する岩手山麓工芸42工房の紹介を継続し、掲載工房に掲載内容や掲載継続意思の確認を行った。
- ・盛岡市が制作した「歩いて 紡いで もりおか物語」のダイジェスト版「ものづくり編」を令和2年度盛岡手づくり村ホームページ上でバナーを作り広く紹介を行ったが、令和3年度に引き続き令和4年度もこの紹介を継続し、盛岡のものづくり産業及び事業者のPRを行った。
- ・ものづくり産業への理解とキャリア教育の推進に向けて、協同組合盛岡手づくり村や南部鉄器協同組合と連携し、盛岡広域内小・中学校8校への社会科見学の対応を行った。

3 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合と契約を締結、自動販売機業者と契約を継続し、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合への貸し付け（事務所、倉庫）
- ・自動販売機業者への貸し付け（みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、カイジョー株式会社）

4 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設け、収益性の高い商品やアロニア関連商品の販売を行い、収益の拡大を図った。

(1) 「盛岡手づくり村 マルシェ」の運営

- ・マルシェにおいて、業界関係者の新商品の普及宣伝、広域市町の特産品の普及宣伝

などを実施した。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじぇら？」や「アロニア商品」を活用した新メニューを考案し、普及宣伝に取り組んだ。

- ・マルシェ内に陶芸作家の作品の展示スペースを設け、地域の工芸品の紹介宣伝を行った。また、作家の作品や展示即売室で購入可能な食品・工芸品を使用し、コーヒー等の提供を行った。
- ・即売室と連携して、話題の商品や新商品をマルシェメニューに取り入れ、販売に結び付くよう工夫した。
- ・期間限定メニューとして、鉄瓶で入れたコーヒーの提供を行い、地場産業の振興とPRに努めた。

(2) アロニア関連商品の開発・販売

アロニア製品のラベルデザインの変更やアロニアドリンクのBOXを作成し、ブランドイメージの普及につなげた。オンラインショップのメルマガを活用し、人気商品のアロニアサプリメントの販促活動を行った。

- ・アロニア製品の製造販売（盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじぇら？」アロニア味、アロニアジャム、アロニアサプリメント、アロニアストレート果汁、アロニアサイダー、アロニアカレー、冷凍アロニア等）
- ・ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」に、アロニアオリジナルセットを掲載し、普及宣伝に努めた。

(3) 盛岡手づくり村 オリジナル商品の考案・販売

- ・地場産業や文化の振興のため、盛岡の特産品イラストのTシャツ、エプロン、マスキングテープ、ハンドタオルを作成し、地場産品と一緒に展示・販売した。Tシャツは新色を新たに展開し、よりバリエーション豊かなものとなった。
- ・展示即売室に盛岡市の特産品のワッペンを使って帽子・手提げ袋が作れる体験コーナーを設置した。

5 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者が共有する施設の維持管理を行った。

6 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

本事業は、国内外から訪れる観光客に対し、地場産業や地域文化への理解を深めることを目的に工芸品の製作実演や工芸品展示会等を行うものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止としたが、南部曲り家を体験学習の会場として活用し、地場産業の歴史や民工芸品の宣伝紹介を行った。

また、「Base TOHOKU」事業の「つなぎでつなぐ、さんさ踊り体験会モニターツアー」で、さんさ踊り体験の会場として活用した。

その他、美食王国もりおか「ならでは体験会」食と農×芸能の黒川田植踊りの会場として活用した。

7 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急経済対策等で実施された盛岡市の次の委託事業を受託した。

- ・もりおかエール便事業

帰省やアルバイトの実施に制限を受けた盛岡市出身の県外進学者に、盛岡三大麺

等の特産品を詰め合わせた「もりおかエール便」(4,400円相当)を無料で発送する事業を実施した。(商品代と送料等は盛岡市負担)

実施期間 令和4年6月23日～令和4年12月10日

申込数 1,356個

・盛岡市省エネ家電買替え促進事業

エアコンと冷蔵庫を省エネ性能の優れたものへ買い替えた盛岡市民に対して市特産品を贈呈することで、高効率省エネ家電への買い替えを促進し、盛岡市民の電気料金負担軽減及び盛岡市気候変動対策実行計画における省エネ行動(COOL CHOICE)の動機付けを図ることを目的とした事業を実施した。

○盛岡市省エネ家電買替え促進事業業務委託契約の締結

○盛岡地域の特産品の箱詰め送付

実施期間 令和4年12月20日～令和5年3月13日

送付件数 226件

・盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業

○盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業業務委託契約の締結

○効果的な展示方法等研修会の実施

日時 令和5年2月14日

○盛岡の伝統工芸品展の開催

「盛岡の伝統工芸品展2023」

会場 いわて銀河プラザ

期間 令和5年2月22日～24日

「盛岡の伝統工芸品展2023」

会場 イオンレイクタウンmori

期間 令和5年3月8日～12日

8 交流促進事業(その他の事業)

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に開催を予定した季節イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小による開催や中止とした。

- ・盛岡手づくり村ゴールデンウィーク2022(4月29日～5月8日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため従前の「春まつり」の規模を縮小して開催(キッチンカーの出展、彫金実演、彫金体験、岩谷堂箆笥入札会等)
- ・盛岡手づくり村お盆期間の催事(8月13日～15日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため従前の「夏まつり」の規模を縮小して開催(キッチンカーの出展、彫金実演、彫金体験、岩谷堂箆笥入札会等)
- ・盛岡手づくり村秋の催事2022(11月5日～6日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため従前の「秋まつり」の規模を縮小して開催(キッチンカーの出展、まゆ細工体験、岩谷堂箆笥入札会等)
- ・盛岡手づくり村お正月フェア(1月7日～9日): 彫金実演、彫金体験、まゆ細工体験、福箆笥販売会、期間限定特別手づくり体験教室等
- ・盛岡手づくり村冬まつり2023: 「いわて雪まつり」事業終了のため中止

9 管理運営事業(法人会計事業)

当振興センターは、盛岡地域の地場産業振興と観光の拠点施設として、国内外等からの来場者に利用されているが、令和4年度は例年同様に施設の環境整備や施設維持管理等を行ったほか、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、来場者や職員の感染防止

に努めた。その他、盛岡広域の地場産業や観光に関する情報共有を目的に、盛岡広域8市町の担当課長で組織する広域活性化懇談会を開催し、情報交換を図った。さらに周辺施設との連携による誘客促進や旅行代理店向けの広告宣伝等を行った。

(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

- ・入場者等への案内、説明、誘致宣伝活動
- ・観光客、視察来訪客への案内、説明
- ・パンフレットの配付
- ・旅行代理店との提携による来場者の誘致、パンフレット送付等
- ・電子掲示板を活用した観光、物産、施設等の紹介
- ・マスメディア利用による宣伝、普及活動
- ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等への広告、情報提供、取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	会議名	会場	内容
令和4年5月24日	第1回理事会	盛岡市勤労福祉会館	令和3年度事業報告・収支決算、定時評議員会の開催ほか
令和4年6月8日	第1回評議員会	地場産業振興センター	令和3年度事業報告・収支決算、理事の選任ほか
令和4年6月8日	臨時理事会	書面表決	理事長の選定
令和5年2月20日	第2回理事会	盛岡市勤労福祉会館	令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・収支予算、定時評議員会の開催ほか
令和5年3月7日	第2回評議員会	地場産業振興センター	令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・収支予算、理事の選任ほか

(3) 職員研修の実施

- ・効果的な展示方法等職員研修会 2月

(4) 盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会の実施

盛岡広域8市町の広域経済の活性化を図ることを目的に、広域市町の課長で組織する盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会を令和5年3月22日、当センターで開催し、情報の共有と意見交換、(仮称)盛岡広域特産品販促キャンペーン事業の提案を行った。

(5) 盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対して盛岡広域8市町の観光行事等を紹介した。(通年)

(6) 電子掲示板による紹介

盛岡市に寄贈され、当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、盛岡地域の観光・物産情報や盛岡手づくり村の紹介宣伝に加え、コロナウイルス感染症対策の告知等を行った。

(7) 施設内の環境整備

- 4月 一斉清掃、春のプランター整備
- 9月 秋のプランター整備

(8) パブリシティー

<新聞、雑誌等>

- ・ 6月 「じゃらん家族旅行2022 関東東北版」
- ・ 7月6日(水) 盛岡タイムス「もりおかエール便の申し込み受け付け中」
- ・ 7月14日(木) 岩手日報「県外学生にエールの小包特産品郵送、市が受け付け」
- ・ 7月 「関東・東北じゃらん8月号」
- ・ 8月12日(金) 岩手日報「県内観光 巻き返しの夏」
- ・ 8月30日(火) 盛岡経済新聞「もりおかエール便」今年も県外で頑張る学生たちへ盛岡からエール届ける
- ・ 12月27日(火) 岩手日報「福運ぶ新年に 盛岡 宝船作り大詰め」
- ・ 1月9日(月) 盛岡タイムス「伝統工芸の体験教室も 盛岡手づくり村 きょうまでお年玉フェア」
- ・ 2月 「るるぶ岩手盛岡花巻平泉八幡平 '24」

<テレビ等>

- ・ 5月28日(土) 岩手めんこいテレビ「山海漬」染屋たきうら
- ・ 7月4日(月) BS japan「徳永ゆうきの一期一会はなうた旅」
- ・ 10月8日(土) チャンネル銀河「福田こうへい・徳永ゆうき 里山ライブ」
- ・ 12月28日(水) TBSテレビ バナナサンド「サンドが本気で考えた爆上がり岩手ツアー」
- ・ 1月7日(土) 岩手朝日テレビ「天津木村のへえ～岩手、それあると思います。」
- ・ 1月7日(土) 岩手めんこいテレビ「FNN LIVE News」盛岡手づくり村でお正月フェア

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組

- ・ 館内各所へのアルコール消毒液の配置
- ・ マスク着用とソーシャルディスタンス確保の呼びかけ
- ・ 手指消毒用アルコール・販売用使い捨てマスクの確保
- ・ 飛沫防止シールドの設置、マスク着用を呼びかける館内放送案内
- ・ 岩手県発行の修学旅行用新型コロナウイルス感染防止ガイドに基づく修学旅行受入準備
- ・ 自動検温センサー1台、手動式検温器3台、室内換気用大型扇風機3台、レジ・カウンター用飛沫防止シールド3台の設置